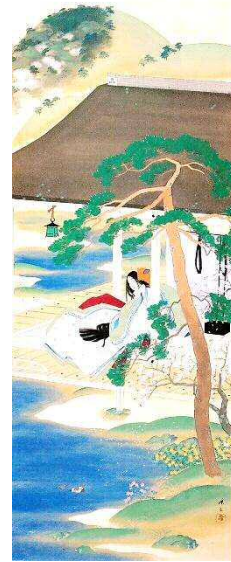


記念館新聞

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

秋季展開催中!



松岡映丘「春」
姫路市立美術館蔵

記念館では、11月24日(月・振休)まで秋季展「松岡五兄弟の原点」福崎からたどる軌跡」を開催しています。

また、左記のとおり記念講演会を行います。ぜひ、秋季展とともにお楽しみください。

本展では、『故郷七十年』に記された兄弟の経歴を紹介するとともに、兄弟それぞれの業績を資料を交えてお伝えしていきます。

なかでも、姫路市立美術館所蔵の松岡映丘本絵5点は必見です。ぜひ、映丘が生み出した色彩の美しさと下絵に描かれた線の緻密さなどを、見比べてみてください。

記念講演会
「カマクラの歴史と雪室の地域性について」
日時:11月16日(日) 13時30分~15時
場所:記念館2階
講師:後藤 麻衣子氏
第33回日本民俗学会研究奨励賞 福崎町賞受賞
(昭和女子大学 歴史文化学科非常勤講師)
(昭和女子大学 女性文化研究所 研究員)

映丘作品 展示作業報告

秋季展では、姫路市立美術館から映丘作品(掛軸)5点を借用しました。作品の輸送と展示作業は専門業者をお願いしました。



展示作業の様子

左の写真は、掛軸の上部を巻き上げているところです。展示ケースよりも掛軸のほうが長いため、作品が映える位置を決めたうえで、その上部を巻き上げて固定しました。見応えたっぷりの作品を、ぜひこの期間中にご覧ください。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時~16時30分
(入館は16時まで)

☆休館日
月曜、祝日の翌日
12月28日~1月4日

☆入館料
無料

いせだいかぐら 伊勢大神楽

下記のとおり、今年も伊勢大神楽を上演します。ぜひ、ご家族そろってお越しください。

日時:11月15日(土)
13時30分から
場所:記念館前広場
小雨決行



故郷七十年を 読む

名作著書紹介

柳田國男は、大正2年(1913)に初めての民俗学雑誌である『郷土研究』を創刊しました。

この雑誌で國男は19のペンネームを使って論文を書きました。このペンネームの中に福崎の地名に由来したものがありません。それは「山崎千束」です。

『故郷七十年』にはペンネームの由来が記されており、「私の生れ故郷田原の西を流れる市川の対岸福崎町山崎という所に、淵に臨んだ岩山があり(中略)、その土地を千束と呼んだいわれがある」と記しています。

このように國男は、自分の家族や友人に関連する地名や人名からペンネームをつくり、用いました。そして、『郷土研究』の休刊号は14のペンネームを使い、自分ひとりで書き上げました。

館日記


10月11日(土)に岩手県立大学で開催された第66回年会で、第34回日本民俗学会奨励賞の表彰式が行われました。

今年の受賞者は関西学院大学大学院社会学研究科の谷岡優子さんです。そして、受賞論文は「風土病の民俗学」六甲山東麓における「斑状歯」をめぐる一です。

福崎町では、受賞者の方に研究成果を発表いただいています。

上記でお伝えしましたように、昨年度の受賞者の後藤麻衣子さんに当館で講演いただきます。

カマクラと雪室について知ることができ、貴重な機会です。ぜひ、お越しください。



受賞者の谷岡さん(右)と高寄教育長(左)